



令和5年8月31日

お盆も過ぎましたが、残暑が厳しい今日この頃です。暑さが厳しく、なかなかプール遊びや戸外遊びが出来なかった8月だった為、9月はその分も戸外で遊ぶ機会が増やしていきたいと思います。

子どもたちがお休み中にお家で過ごした夏の思い出をそれぞれ聞かせてくれ、楽しかった気持ちが伝わってきました。長くお休みしていた子どもたちは休み明けの登園に涙する姿もありましたが、長引くことがなく、成長を感じた一面でした。

暑さで疲れが出てくる時期でもありますので、体調の変化に気を付けながら9月も元気に過ごせるように保育をしていきたいと思います。

- 6日(水) サッカー教室(5歳児)
- 7日(木) まなびタイム(5歳児)
- 8日(金) 体操教室(3・4・5歳児)
- 15日(金) 誕生会
- 21日(木) まなびタイム(5歳児)
- 22日(金) 避難訓練
体操教室(3・4・5歳児)
- 25日(月) プール納会
- 26日(火) サッカー教室(4歳児)
- 28日(木) まなびタイム(5歳児)
- 29日(金) 体操教室(3・4・5歳児)

9月の予定

- ・東北福祉大学の学生が8/28(月)～9/8(金)まで入ります。仙台青葉短期大学の学生が9/11(月)～9/22(金)まで実習に入りますのでよろしくお願いします。
- ・体操教室やサッカー教室、運動会の取り組みも始まりますので、女の子はスカートではなく、動きやすい服装で登園をお願いします。
- ・20日(水)は以上児クラスの運動会総練習、28日(木)は未満児クラスの運動会総練習があります。



親同士、子どもたちと一緒に、災害に備えて確認してみてください。

毎年9月1日は「防災の日」。なぜ創設されたのかは、1923年9月1日に起きた関東大地震です。この震災を忘れず、災害に対する備えをしっかりと行おうと、「防災の日」として制定しました。園でも、毎月様々な設定で避難訓練実施しています。その度に、「地震の時には・・・」「火事の時には・・・」などと、避難の仕方や何故避難するのかなど、子どもたちに知らせています。しかし、震災は、いつ、どこで起こるかわかりません。各家庭ごとに災害時の対応について話たり、備えについて見直したりする日にしましょう。

- ・防災マップで地域の避難場所を確認する。
- ・避難グッズを確認する。
- ・家具の転倒防止対策を行う。
- ・食料、飲料の備蓄を確認する。
- ・家族同士の連絡手段を確認する。



10月の予定

- 4日(水) 内科健診 ※15:00～
- 6日(金) 体操教室(3・4・5歳児)
- 14日(土) 運動会
- 17日(火) 避難訓練
幼年消防入団式(4・5歳児)
炊き出し訓練
食育「だし・おにぎり作り」
- 19日(木) まなびタイム(5歳児)
- 21日(土) 運動会予備日
- 24日(火) 誕生会
- 25日(水) 芋掘り遠足(4歳児)
- 26日(木) 動物園遠足(3歳児)
- 27日(金) 体操教室(3・4・5歳児)
- 30日(月) サッカー教室(5歳児)
- 31日(火) 芋掘り遠足予備日



いすぐみ (1歳児クラス)



<8月のねらい>

- ・保育教諭や友達と一緒に水に触れ、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。
- ・保育教諭や友達に関心を持ち、言葉や動きを真似して遊ぶことを楽しむ。

<8月のねらい>

- ・様々な遊びを通して友達や保育教諭との関わりを広げて遊びを楽しむ。
- ・友達と関わりながら夏ならではの遊びを楽しむ。

ぞうぐみ (4歳児クラス)



夏祭りの行事を通して子ども同士の関わりも深まり、朝夕一緒に過ごしている年長児や年少児にも興味が芽生えてきました。そこで集団遊びや触れ合いながらの体操など様々な遊びを取り入れながら保育を進めてきました。初めは恥ずかしがっていた子ども達も繰り返し交流を図っていく中で名前を覚えたり、一緒に遊びを楽しんだり、異年齢児との遊びの中から同年齢とはまた違った微笑ましい関わりが見られるようになりました。



保育教諭が遊び方を知らせながら遊ぶことで、子ども達も真似をしてじょうろや水鉄砲に水を汲んで流したり、「つめたいね」「きもちいいね」と水の気持ちよさを感じながら、お友達と水を分けて一緒に遊ぶ姿が見られるようになりました。



体操におままごと等様々な遊びを友達と一緒に楽しんでいます。お友達の遊びを見て真似たり、「おいで」と誘い合って遊んだりする姿もあり、保育教諭が友達の名前を知らせると、名前を呼び合う姿も見られるようになりました。



暑い日が続く中でも安全で快適に遊べるよう遊んでいる最中にも水分補給の時間を設け、ホースシャワーをしました。友達や保育教諭と水を掛け合い、冷たい水に触れる心地よさを感じながら歓声をあげて楽しんでいました。また、夏だからこそ全身で粉の感触を楽しめるよう片栗粉遊びを取り入れました。水の多さによって変わる片栗粉の感触に沢山の発見があり、水を調節して色々試しながら遊んでいました。

